

第三次草加市生涯学習基本計画

(素 案)

草加市教育委員会

はじめに

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置付けと期間	2

第1章 第三次草加市生涯学習基本計画の策定に当たって

1 生涯学習を取り巻く背景	4
2 草加市の生涯学習の現状	6
3 第二次生涯学習基本構想・基本計画の進捗状況	10
4 第三次生涯学習基本計画の基本理念・基本目標	22
5 施策の体系	26

第2章 基本計画

1 重点プロジェクト	28
2 【施策1】生涯をととした多様な学習機会の充実	32
3 【施策2】生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進	42
4 計画の推進体制	48

はじめに

1 計画策定の趣旨

草加市では、「生きる力をはぐくむ学縁都市 そうか」を目指して、平成11年に「第一次草加市生涯学習基本構想・基本計画」を、平成21年に「第二次草加市生涯学習基本構想・基本計画」を策定しました。

この間の時代の潮流は、急激な少子高齢化の進行、スマートフォンなどの普及による情報通信技術の進展、そして近年増加している大規模災害の発生など、私たちの生活と地域の姿は大きく変わりつつあります。

こうした状況の中、団塊の世代の大量退職時代を迎え、地域に根ざし、豊かで充実した第二の人生を過ごすために、生涯学習に対する意識が高まっています。

本市においては、平成24年3月に「草加市教育振興基本計画」を、平成28年2月に「第二次草加市教育振興基本計画」を策定し、学校・家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携して支え合い、子どもたち一人ひとりが「生きる力」を確実に身に付けることができる学校教育の推進、そして市民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学習する機会とその成果を発揮できる学習環境づくりの推進を目指しています。

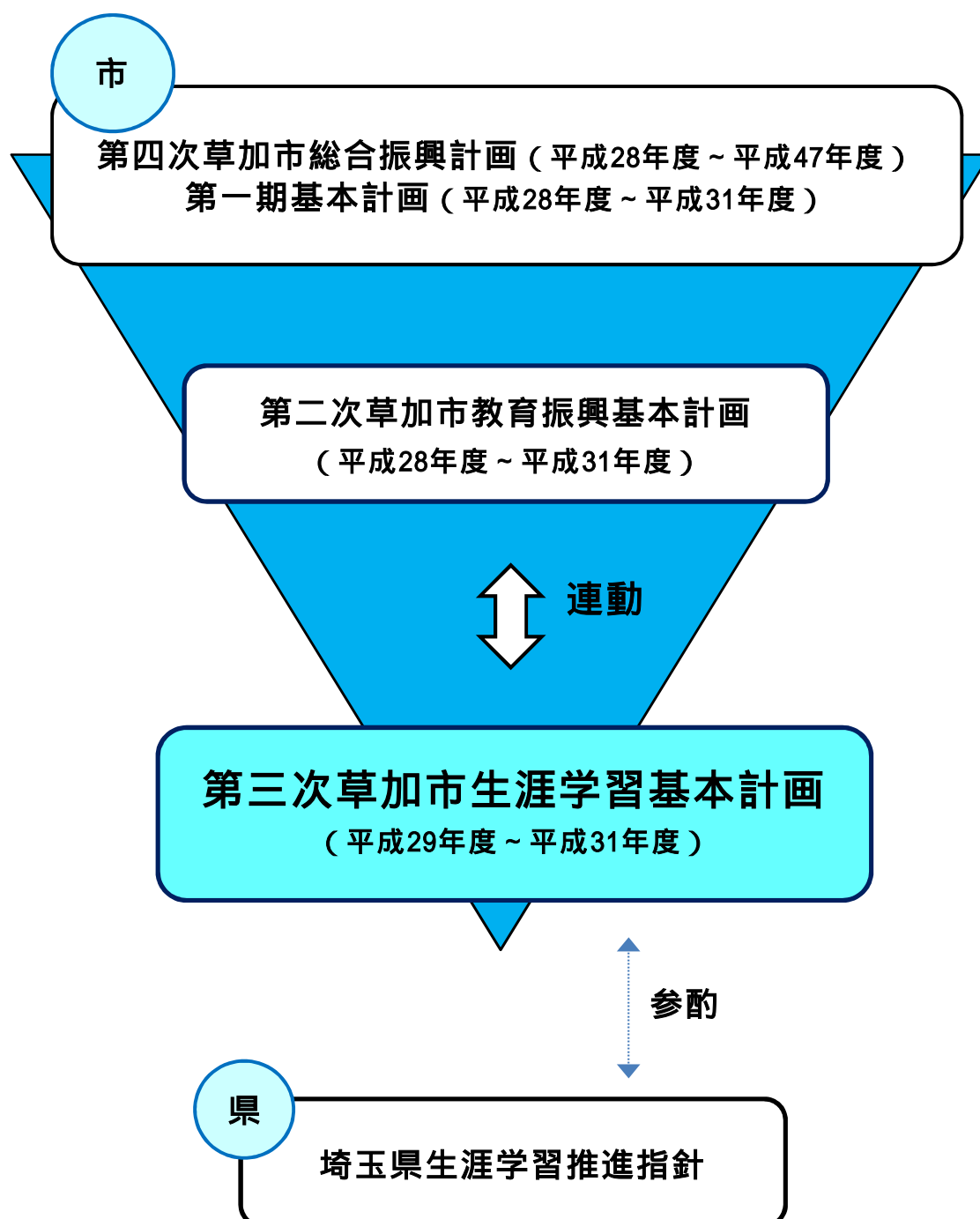
「生きる力」は学校教育といった一時期だけの学習で身に付けられるものではありません。生涯にわたって、あらゆる場所で、様々な学習経験を積む中で身に付けられるものです。市民一人ひとりのライフステージに応じた多様な学習情報や学習機会を提供するとともに、習得した技能や知識を地域社会にいかしていけるような生涯学習社会の実現が求められています。

こうしたことから、本計画は「第二次草加市生涯学習基本構想・基本計画」の進捗状況・課題を踏まえた上で、「第二次草加市教育振興基本計画」における施策を計画的に取り組んでいくために策定したものです。

2 計画の位置付けと期間

本計画は、「第二次草加市教育振興基本計画」と連動する個別計画として位置付けています。また、本市のまちづくりの総合的な指針となる「第四次草加市総合振興計画」の分野別計画としても位置付けています。互いの計画が緊密に連携しながら、効果的・効率的に施策を推進していきます。

本計画の期間は、「第四次草加市総合振興計画」及び「第二次草加市教育振興基本計画」との整合性を図るため、平成29年度から平成31年度までの3年間とします。



第 1 章

第三次草加市生涯学習基本計画 の策定に当たって

第1章 第三次草加市生涯学習基本計画の策定に当たって

1 生涯学習を取り巻く背景

生涯学習は、学校教育とは異なり、自己実現や自分や家族の人生を豊かにするため、また、地域活動やボランティア活動など社会に参加するための自発的な学習ということができます。その内容は、趣味、教養、健康、スポーツに関すること、生活課題に即した学習、地域活動に参加するための学習など、非常に幅広いものとなっています。

「生涯学習」という言葉の定着はもちろん、実際に学習活動をする人も年々増加しています。平成24年7月に内閣府が実施した「生涯学習に関する世論調査」では、この一年間の生涯学習の実施状況を聞いたところ、「生涯学習をしたことがある」と答えた人の割合は57.1%（前回平成20年5月の調査結果：47.2%）となっています。誰もが生涯にわたって、あらゆる場所で、あらゆる機会に学ぶことができる生涯学習社会の進展を実感できます。

東日本大震災後、「人與人」「人と地域」の絆の重要性が見直され、積極的に地域社会に貢献していこうという気運が見られます。学習を通じて必要な知識や技術を身に付け、その成果を社会貢献などにつなげていくための実践的な学習機会の提供が重要となっています。

また、大学、NPO法人、民間学習団体などにおける学習事業が、質・量ともに急速に広がっています。多様化、高度化する学習者のニーズや地域の課題に対応していくためには、人材や情報、技術など様々な資源を有するこれらの団体との積極的な連携を進める必要があります。

このことから、国においては平成25年に第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理が公表され、今後の生涯学習・社会教育の振興の具体的方策として、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習活動や体制作りの推進」、「現代的・社会的課題に対応した学習機会及びライフステージに応じた学習機会の充実」などが示されました。

また、埼玉県においては、平成25年3月に「埼玉県生涯学習推進指針」を策定し、10年先を見据え、その方策や重点的に支援する分野を明らかにし、「学びを支える」、「学び合いを支える」、「学びの成果の活用を支える」の3つの柱を中心に、生涯学習を推進しています。

本市においては、平成21年3月に策定した「第二次草加市生涯学習基本構想・基本計画」に基づき、「学びの環境づくりを推進する」、「学びの活発化を推進する」、「学びのまちづくりを推進する」の3つを基本方向として、各施策を推進してきました。

しかしながら、平成26年10月に実施した草加市生涯学習市民アンケートにおいて、行政に対する要望を聞いたところ、「生涯学習情報を得やすくする」、「サークル等の団体を支援する」、「講座、講演会などを開催する」など、多くの意見が寄せられています。

市民一人ひとりが、「学び始め」、「学びの継続」、そして「学びの成果の活用」といった「学びのサイクル」を実践することができるよう、引き続き施策の推進が必要です。

(2) 生涯学習施設の利用状況 (草加市行政報告書、草加市統計書より)

公民館・文化センターの利用状況

市民の生涯学習の場として、公民館・文化センター6館(中央公民館・柿木公民館・谷塚文化センター・川柳文化センター・新田西文化センター・新里文化センター)が設置され、市民の身近な生涯学習の場として親しまれています。

(単位:人)

年度	中央公民館	柿木公民館	谷塚文化センター	川柳文化センター	新田西文化センター	新里文化センター
25	232,512	29,597	146,292	73,526	71,060	-
26	221,591	33,561	146,061	80,164	67,672	44,624
27	243,105	35,696	135,128	83,229	73,905	60,857

新里文化センターは平成26年度に開設したため、平成25年度の数値はありません。

コミュニティセンター・市民活動センターの利用状況

コミュニティセンター7館(原町・瀬崎・稲荷・氷川・柳島・八幡・高砂)、ミニコミュニティセンター6館(草加南・草加北・松原・新田・谷塚・谷塚南)が設置され、市民の参加と責任のもとでコミュニティづくりが推進できるようにしています。

また市民と協働によるまちづくりを実践するための拠点施設として、市民活動センターを設置しています。市民活動に関する相談に応じるほか、学習機会及び交流機会を提供しています。

(単位:人)

年度	コミュニティセンター	ミニコミュニティセンター	市民活動センター
25	260,553	63,810	5,418
26	262,768	61,049	4,908
27	256,974	62,671	5,131

文化会館の利用状況

「国際ハーpfフェスティバル」をはじめする文化事業を実施するほか、学習機会や学習成果の発表の場を提供しています。

(単位:人)

年度	ホール	その他の会議室等
25	74,920	91,635
26	78,511	91,868
27	75,895	92,510

図書館(室)・歴史民俗資料館の利用状況

中央図書館を中心に、公民館・文化センター図書室(6カ所)、サービスコーナー(21小学校)及び地域開放型図書室(3小学校)がネットワークでつながり、図書の貸出・返却、予約本の受渡しなどができるようになっています。

また、歴史民俗資料館は、埼玉県下初の鉄筋コンクリート造校舎であった草加小学校西校舎を改修したもので、郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管・展示しています。

(単位:冊・人)

年度	中央図書館 貸出冊数	公民館・文化センター 図書室 貸出冊数	サービスコーナー 地域開放型図書室 貸出冊数	歴史民俗資料館 来館者数
25	985,579	97,497	207,394	14,352
26	913,381	107,416	175,722	16,238
27	902,614	112,721	174,012	16,763

公民館・文化センター、サービスコーナー、地域開放型図書室の貸出冊数は、「草加の教育」より引用

体育施設の利用状況

市内の体育施設として、体育館(草加市スポーツ健康都市記念体育館、市民体育館)、市民温水プール、運動広場(草加市営総合運動場運動広場、そうか公園多目的運動広場)、草加市営総合運動場野球場、テニスコート(吉町テニスコート、そうか公園テニスコート)などが市内各所にあります。これらの施設では、健康の維持・増進や体力向上のため、様々なスポーツ教室が開催されています。

また、市内小学校21校及び中学校11校の体育館・校庭を一般に開放し、地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として広く利用されています。

(単位:人)

年度	スポーツ健康 都市記念体育館	市民体育館	市民温水プール	吉町テニスコート	そうか公園 テニスコート
25	231,126	112,751	62,924	28,064	80,852
26	242,900	111,085	65,660	27,386	84,580
27	257,554	107,322	69,775	27,402	88,699

年度	総合運動場 野球場	工業団地公園 野球場	総合運動場 運動広場	そうか公園 多目的運動広場	学校体育施設の 登録人数
25	18,822	17,119	2,176	129,229	8,613
26	20,116	14,902	2,180	130,666	8,416
27	19,427	16,893	2,331	120,720	8,820

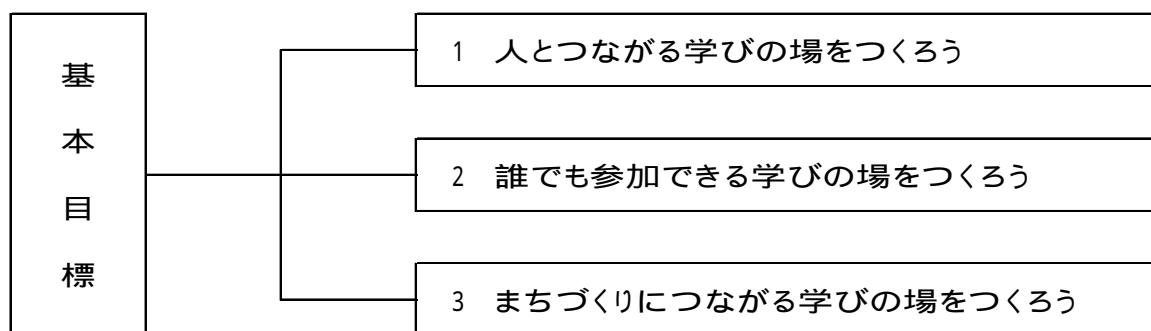
3 第二次生涯学習基本構想・基本計画の進捗状況

「第二次生涯学習基本構想・基本計画」では、第一次計画の基本目標であった「生きる力をはぐくむ そうか学縁都市」を基本理念の礎とし、次のように定めました。

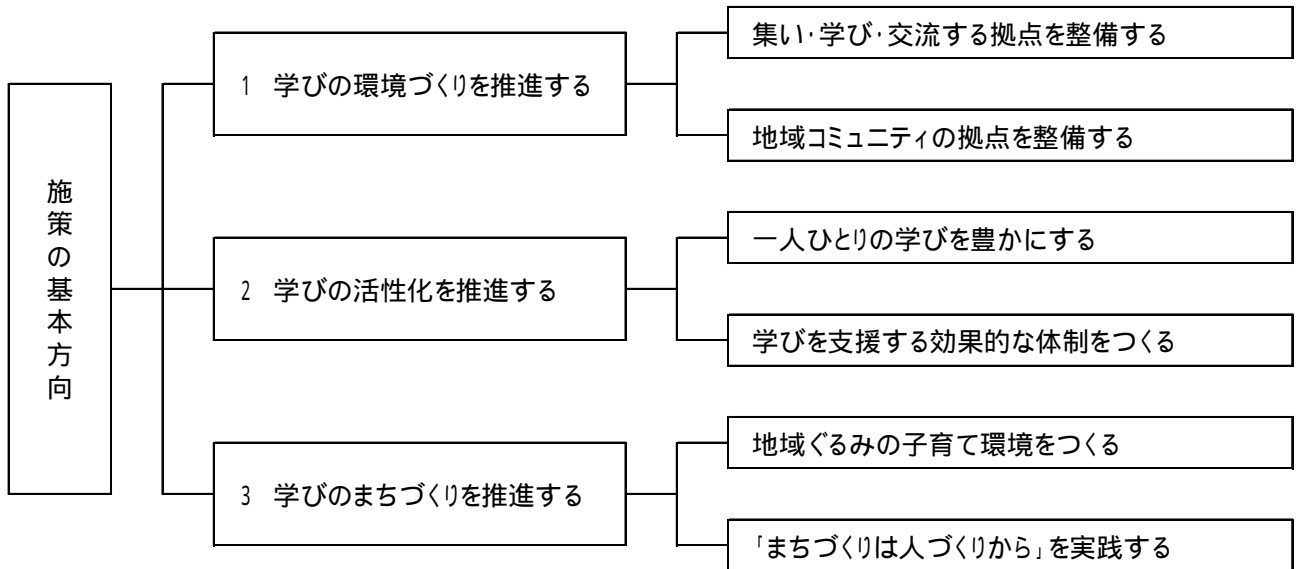
生きる力をはぐくむ学縁都市 そうか

私たちのまち草加で、共に学び、新しい絆で結ばれ、それぞれの心の中にある興味や問題意識など色々な思いを広げ、より豊かに生きていくことができる、そんな新しい学びのまちを「学縁都市」と名付け、この学縁都市の実現を目指しました。

また、この基本理念につながる具体的な基本目標を、次の3つとしました。



「第二次生涯学習基本構想・基本計画」の基本目標は、場の整備、学習機会・支援体制の充実、学習成果の活用といった多岐にわたる内容を含んでいました。それらを体系化された施策として整理するために、3つの施策の基本方向、6つの施策の柱を定めました。



（１）集い・学び・交流する拠点を整備する

【概要】

既存施設を利用して、拠点となる生涯学習センターの機能を整備し、情報提供や相談事業を強化するなど、市民の生涯学習を効果的に支援していくことのできる体制の整備が課題となっていました。

また、学習施設やスポーツ・レクリエーション施設の充実と市民が利用しやすい施設運営が求められていました。

【進捗状況】

生涯学習センターの機能整備として、「草加市生涯学習情報提供サイト」を開設しました。「草加市生涯学習情報提供サイト」は、地域サイトを運営する民間企業と提携し、インターネット上において、学習情報及び指導者情報などを提供します。これらの情報は、行政から発信されるばかりではなく、NPO法人やサークル団体など、生涯学習を実践する市民からも発信することができ、幅広い学習情報を発信することにより効果的に学習することができる体制が構築されつつあります。

また、学習施設の充実として新田西公民館及び谷塚西公民館を建て替え、それぞれ新田西文化センター、新里文化センターが開館しました。ミニ発表会や展示会などが開催できる機能的なロビー、スクリーンを設置した会議室、子育て中の市民に配慮し、託児室を設置するなどの整備が進められました。

一方、新築された栄小学校については、多目的ルーム1・2、視聴覚室、調理室の4部屋を一般に開放し、小学校と学習施設の複合施設として整備が図られました。

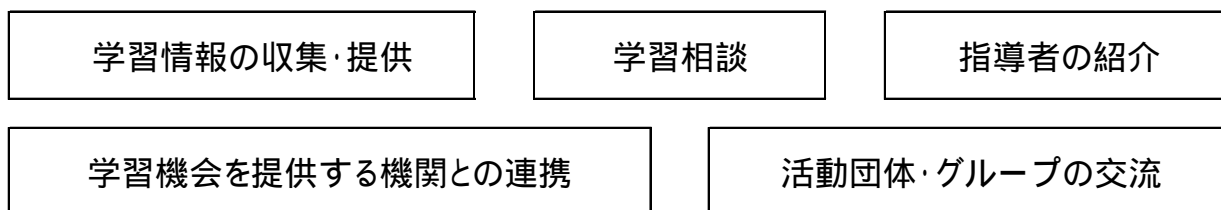
市民が利用しやすい施設運営としては、学習施設においては利用者懇談会やお祭りなどの実施、また、小中学校の学校体育施設においては学校開放運営委員会での意見交換などにより、市民の意見を取り入れた施設運営を行っています。

【今後の課題】

生涯学習情報提供サイトの周知を図り、多くの市民にその存在を知ってもらうことが大切です。また、情報提供サイトに掲載されている情報数やアクセス数を分析することも必要です。行政からの情報ばかりではなく、学習活動しているサークルからの生の情報を掲載することにより、サイト閲覧者の興味を引くことにつながります。

さらに、学習施設やスポーツ施設の整備・運営については、高年者や障がい者、小さな子どもを連れた親子連れなどの視点に立ち、きめ細かな施設整備に心がけるとともに、引き続き利用者や地域住民の意見を取り入れた施設運営を行うことが必要です。誰もが利用しやすい施設の管理運営体制に取り組むことが重要です。

生涯学習センターの主な機能



（２）地域コミュニティの拠点を整備する

【概要】

地域コミュニティの拠点として、公民館や文化センター、コミュニティセンターのほか、徒歩や自転車で行動できる範囲にある学校を、身近な学習活動の場とする地域学習圏づくりを進めることが求められていました。

【進捗状況】

現在、14の小学校の平成塾で、地域の住民と児童との交流活動が実施されています。平成塾は、地域の高年者の共同学習の場や地域の子もたちとの世代間交流の場として、小学校の余裕教室を改修して設置している施設です。平成元年度から設置を進めたことから「平成塾」と名付けられ、地域コミュニティの場となっています。少子化による児童生徒数の減少により余裕教室が問題となっていた当時、余裕教室を学校教育以外に活用するということは大変めずらしく、先進的な取組として、文部科学省の資料や小学校6年生用の一部の社会科資料集にも紹介されています。平成塾のこうした活動は、開かれた学校づくりを推進しています。

また、児童クラブや放課後子ども教室による学校施設の利用をはじめ、谷塚小学校や高砂小学校、栄小学校など、学校施設の一部開放が進められています。

【今後の課題】

平成塾は、地域と学校をつなぐ重要な役割を担っていますが、利用者の高齢化が大きな問題となっています。また、コミュニティセンターの建設など学習施設の整備が図られたことから、新たな平成塾の担い手が集まりづらい状況にあります。平成塾は、学校施設を地域に開放するという全国でもめずらしい事業であり、草加の特色ともいえる事業です。児童と祖父母世代との大切な交流の場である平成塾の活動を支えていく必要があります。

学校のもつ機能や施設の開放については、地域住民の学習の場としてだけでなく、児童クラブや放課後子ども教室といった子どもの居場所づくりの方向にも進んでいます。地域の学習拠点として学校を位置付けることには限界があるようです。

一方、公民館・文化センターにおいては、新田西文化センター、新里文化センターが建て替えにより開館し、利用スペースの増加に伴い、利用者数も年々伸びています。

活発な活動を行っている公民館・文化センターを学習の中心拠点として再認識し、地域の学校やコミュニティセンターなどとの連携を進めることも必要です。

（３）一人ひとりの学びを豊かにする

【概要】

市民の学習ニーズは多様化し、質の高い学習が求められており、これらに応えるために公民館・文化センターでの講座やそうか市民大学による講座、また、大学の公開講座など多くの講座が提供されていました。様々な主体で行われている講座や教室の情報を一元化することにより、市民が自主的に、年間をとおして計画的に学習できる体制づくりが求められていました。

【進捗状況】

学習・講座の情報を分野別、内容別に体系化することで、市民が選択しやすい仕組みづくりとして、生涯学習情報提供サイトを開設しました。これにより、講座・指導者・サークルを分野別で検索することができるようになりました。

また、福祉や男女共同参画社会、多文化共生、環境、防犯・防災、健康、人権などの現代的課題やスポーツ・レクリエーション活動について、各分野を所管する市の各部署から学習プログラムなどが提供されています。

大学との連携事業としては、獨協大学、上野学園大学との共催により公開講座を開催するとともに、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくむ新たな取組として、「子ども大学そうか」を開校しました。

歴史・文化資源を活用した学びの機会としては、平成26年3月18日に草加市のシンボルである「草加松原」が、文化財保護法に規定する国の名勝に指定されたことから、歴史民俗資料館において企画展や歴史講座を開催するなど、文化を継承していくための講座を開催しています。

【今後の課題】

少子高齢化、環境問題、防犯・防災問題など変化の著しい現代的課題について、効果的に学習できるよう工夫する必要があります。

新たな取組として「子ども大学そうか」が始まりました。次代を担う子どもたちの知的好奇心を刺激し、学びの楽しさを実感してもらうことは大変重要です。「子ども大学そうか」の内容をさらに充実させていくことが必要です。

また、「草加松原」が国の名勝に指定されたことは大変喜ばしい出来事です。草加が全国に誇るこの「草加松原」を、郷土学習の資源として一層活用していく必要があります。

(4) 学びを支援する効果的な体制をつくる

【概要】

学習したい、学習の成果をいかしたい、そのようなときに欲しいのは、学習情報と相談する窓口です。学習情報については、「広報そうか」や情報誌、市のホームページなどによる提供に努めていますが、学習情報の一元化を図り、学習の機会だけでなく指導者、団体・サークルなどの情報の充実を図ることが求められていました。学習相談については、相談機能の充実に向け、学習成果をいかしたスタッフの育成が課題となっていました。

また、団体・グループが学習活動を自主的・発展的に継続していけるよう、支援体制の充実が求められていました。

【進捗状況】

学習情報の一元化としては、生涯学習情報提供サイトを開設させることにより、リアルタイムに講座、指導者、団体・サークルの情報を得ることができるようになりました。また、公民館・文化センターなどでは、「施設だより」を発行し、情報の発信に努めています。

学びに関する相談体制の整備としては、学習情報を共有することで公民館・文化センターの窓口での相談機能の充実を図りました。また、中央図書館では、調べ物学習を支援しており、図書を通した調査・相談に応じています。

団体・サークルの活動を支援する体制の充実としては、公民館使用料の減額制度を継続するほか、「施設まつり」などで成果発表の場を提供しています。

【今後の課題】

学習情報の一元化を一層進めるために、生涯学習情報提供サイトの内容を充実させる必要があります。講座、指導者、学習団体・サークルの情報数を増やすことはもちろん、掲載情報も見やすく、分かりやすく工夫することが求められます。

また、相談体制の整備としては、「いつでも、どこでも、気軽に」相談できる体制が求められています。施設の窓口での相談にこだわらず、様々な形の相談窓口を設置していく必要があります。

団体・サークルの活動支援については、引き続き公民館使用料の減額を行うことが必要です。

（５）地域ぐるみの子育て環境をつくる

【概要】

学びは子どものときから始まります。地域における子育てに関する理解の促進と子育て支援活動の活性化が求められていました。

子どもたちの基礎的な知識を深め、一人ひとりの未来の可能性を豊かにする学校教育の推進が求められていました。

生涯にわたる豊かな人間性と社会性を身に付けるため、家庭や地域の教育力の向上、開かれた学校づくりによる体験・交流活動の活発化が求められていました。

【進捗状況】

公民館・文化センターにおいては、年間を通じて子育てサロンやすくすくクラブ、家庭教育学級を実施しており、中央図書館においては、年間を通じて読み聞かせ、工作教室などを実施し、絵本や図書を活用した親子の交流の場を育んでいます。児童館・児童センターにおいては、親子が触れ合う場や親同士・子ども同士が交流する場を提供しています。また、出産、子育て、しつけ、子どもの発達などの相談支援や発達に心配のある子どもの専門支援を行う施設として、子育て支援センターを開設しました。

学校教育においては、基礎学力の向上に取り組むとともに、心豊かな児童・生徒の育成を目指し、「知・徳・体」のバランスのとれた育成を目指した取組を進めています。障がいのある児童生徒への教育については、子どもたちの可能性を広げるため、学校内の支援体制や特別支援学級の設置及び担当教員の育成に積極的に取り組みました。

開かれた学校づくりとしては、地域のボランティアを「学校応援団」とし、学校における学習活動、安全・安心確保、環境整備など様々な場面で学校の活動を支援しています。

【今後の課題】

子育て中の親子を支援するため、引き続き親子や乳幼児に関する講座や家庭教育学級を実施する必要があります。

（６）「まちづくりは人づくりから」を実践する

【概要】

音楽と文化のまちづくりを推進し、市民が心豊かに過ごし、住むことに自信と誇りがもてる草加の新しい文化特性をつくりあげます。

また、学習成果をボランティア活動などの地域活動にいかしたい、それにより学びを深め、充実感をもちたいと考える市民が多くなっています。学習活動を重ねて得た知識や技能をいかし、まちづくりや地域社会の活性化につなげます。

【進捗状況】

本市は、平成５年に音楽都市宣言を行い、平成２５年には２０周年を迎えました。公民館・文化センターにおいては、「音楽と文化のまちづくり」として様々な事業を開催しています。音楽が響き、人々の心にメロディーがあふれるまちづくりを進めています。

また、平成２６年には「草加市文化芸術振興条例」を制定し、文化芸術の振興に当たって、市、市民等、地域団体等の役割を明らかにし、草加らしい文化芸術を創造するための指針を定めました。

市民活動の支援としては、市民活動センターを中心として、市民活動団体やＮＰＯ法人向けの情報の提供、団体同士の情報交換の場を提供しています。

学習成果の発表・活用の場づくりとしては、公民館まつりや平成塾活動合同発表会の開催、中央図書館における文化講演会及び展示ギャラリーでの企画展示の実施、指導者バンク登録者による「生涯学習体験講座」及び「図書館生涯学習講座」の開催などにより、発表・活動の場を提供しています。

【今後の課題】

音楽イベントや音楽を学ぶ機会の充実、音楽活動団体の支援をとおして、音楽都市宣言にふさわしいまちづくりを引き続き推進する必要があります。

市民活動センターでは、市民活動団体・ＮＰＯ法人などの支援をとおして地域活動に関する様々な情報を有しています。市民活動センターと連携し、学習の成果を地域活動につなげたいという市民のニーズに応える必要があります。

4 第三次生涯学習基本計画の基本理念・基本目標

生涯学習の場での出会い、学びをとおして得た絆は「生涯学習＝学縁（がくえん）」と呼ぶことができます。地縁や血縁、職場縁といったこれまでの人間関係に加え、この「学縁」は「人與人」「人と地域」を結び、活気のある地域コミュニティの広がりをつくり出します。生涯学習によって生まれた、この新たな絆＝縁は、「生きる力」となります。

「第二次生涯学習基本構想・基本計画」で目指したこの理念を、今後も受け継いでいきたいと思います。そのため、「第三次生涯学習基本計画」においても引き続き基本理念とします。

基本理念

生きる力をはぐくむ学縁都市 そうか

「第三次生涯学習基本計画」の上位計画である「第二次草加市教育振興基本計画」において、生涯学習における基本目標を「地域の力をはぐくむ生涯学習活動の推進」と定めています。その中では、基本理念「生きる力をはぐくむ学縁都市 そうか」の実現を目指すためには、地域に根ざした生涯学習活動を推進する必要があるとしています。

基本目標

地域の力をはぐくむ生涯学習活動の推進

「第三次生涯学習基本計画」の策定に当たっては、地域にある学習資源の積極的な活用を目指します。

生涯学習の広がりとともに、生涯学習に関する情報が増大し、社会にあふれるようになっています。このため、学習情報を分野別、対象別、会場別などに総合化、体系化し、必要な情報を選択できるようにするために「生涯学習情報提供サイト」を構築しました。インターネットの普及により、パソコンだけでなく携帯電話やスマートフォンで情報を入手したり、様々なやり取りを行ったりすることが日常的となっています。従来の紙媒体による情報発信とともに、インターネットの積極的な活用が必要となっています。

一方、生涯学習に対する市民のニーズは多様化し、質の高い学習が求められるようになってきました。趣味や教養などの分野の他、現代的課題や専門的学習を提供するためには、豊富な学習資源をもつ様々な主体と連携することが大切です。大学や民間学習団体などと連携し、充実した学習プログラムの提供にも努めていく必要があります。

また、本市では、歴史民俗資料館が中心となり、地域のもつ歴史や文化を再発見し、次代に受け継いでいくために郷土学習の充実を推進しています。「草加松原」が国の名勝に指定されたことにより郷土の歴史や文化に対する市民の関心が大変高まっており、現在は郷土学習を進める絶好の機会といえます。

以上のことから、計画の策定に当たっては次の3つの視点を基本に据えるものとします。

生涯学習の情報化を推進する

市民のニーズに応える多様な学習を推進する

郷土の歴史や文化を活用した学習を推進する

この3つの視点に基づき、特に重点的に取り組むべき課題を「重点プロジェクト」とし、次の3つとします。

重点プロジェクト 「生涯学習情報提供サイトの普及・活用」

「生涯学習情報提供サイト」をより多くの人に見ていただき、利用していただくために、サイトの普及、活用を推進します。

重点プロジェクト 「地域の学習資源の活用」

大学、民間学習団体、NPO法人などとの共催による講座や事業の実施を推進します。

重点プロジェクト 「『草加松原』を活用した郷土学習の推進」

歴史民俗資料館を中心として、『草加松原』を活用した郷土の歴史を学ぶ学習を推進します。

そして、「重点プロジェクト」における課題の解決のための具体的な施策の柱は、次の2つとします。

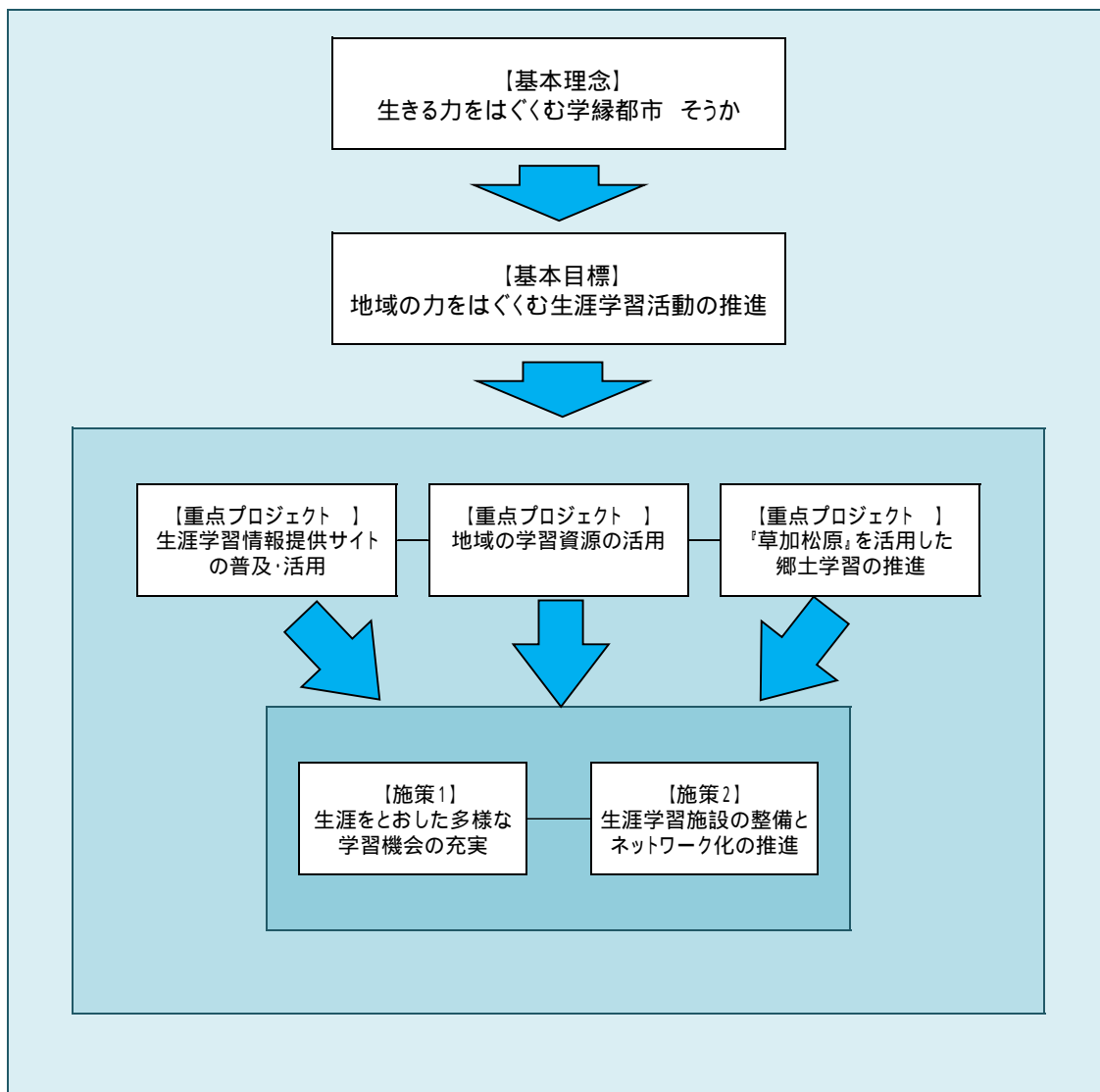
施策1 「生涯をとoshた多様な学習機会の充実」

市民一人ひとりのライフステージに応じた多様な学習情報や学習機会を提供するとともに、習得した技能や知識を市民が社会に還元していける地域づくりを推進します。

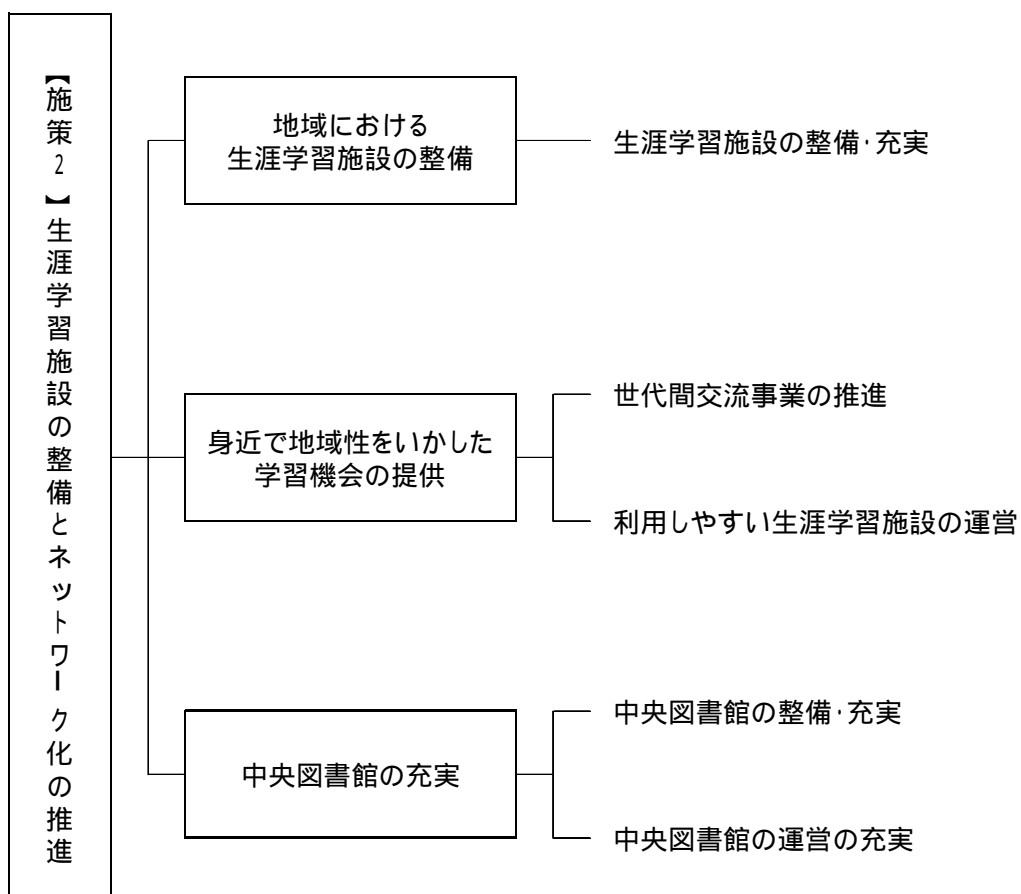
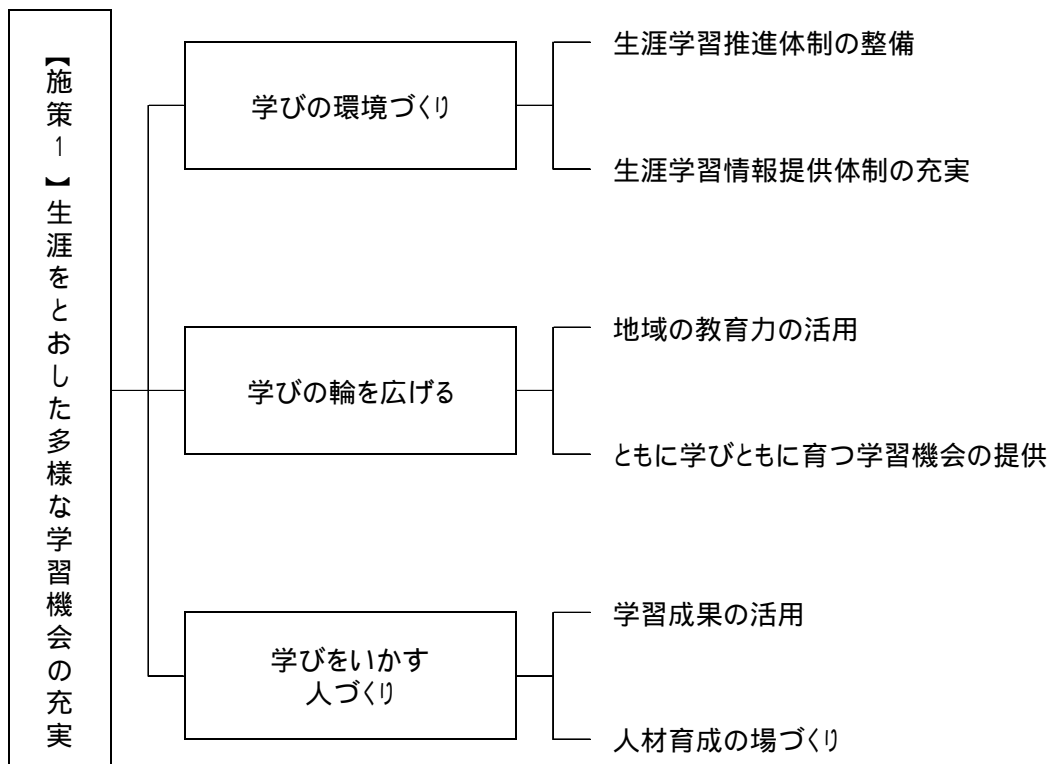
施策2 「生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進」

身近で地域性をいかした学習機会を提供するとともに、学習環境のネットワーク化を推進します。

「基本理念」、「基本目標」、「重点プロジェクト」、「施策」の関係は、次のとおりとなります。



5 施策の体系



第 2 章

基本計画

第2章 基本計画

1 重点プロジェクト

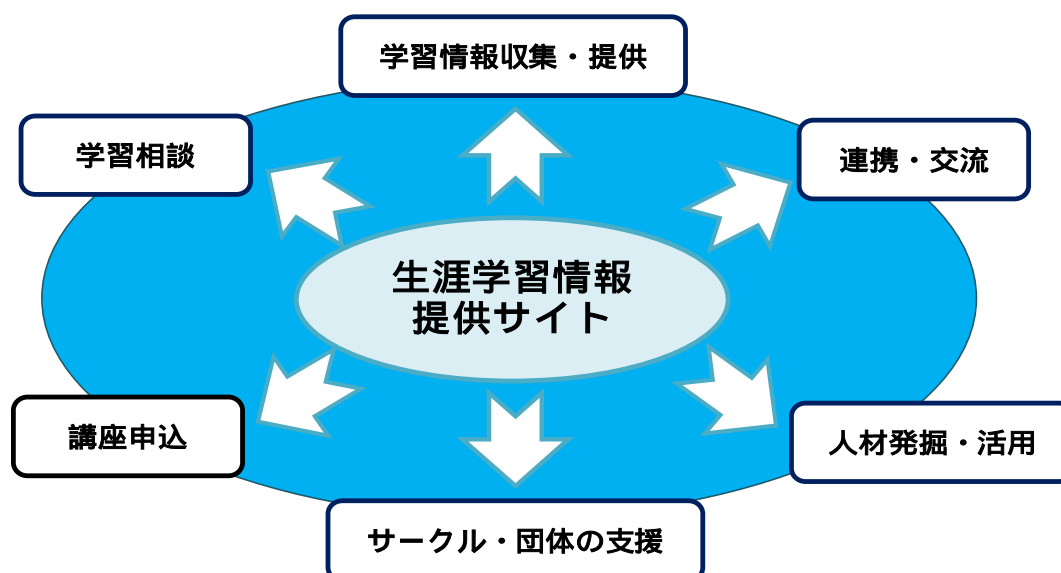
生涯学習情報提供サイトの普及・活用

「第二次生涯学習基本構想・基本計画」では、重点プロジェクトの一つとして「新たな学習システムの構築」を掲げ、学習情報を分野別、対象別、会場別などに一元化、体系化するために「生涯学習情報提供サイト」を平成26年度に構築しました。

「生涯学習情報提供サイト」は様々な機能をもっています。講座やイベント情報の提供はもちろん、学習を手助けする指導者の発掘・活用、市内で活動するサークルや学習団体のPR、講座の申込、新たに学びを始めたい人への学習相談など、学習に関わる人と人とを結び付けることができます。

「生涯学習情報提供サイト」の開設により、公民館・文化センターといった行政をはじめ、NPO法人やサークルなどからの情報提供が進み、さらにイベント風景や活動風景の写真も多く投稿されるようになりました。このように写真を多く活用することにより、詳細な学習情報の提供を進めることができました。一方、学習情報にはまだまだ偏りがあり、また、「生涯学習情報提供サイト」の利用の目安となるアクセス数も開設当初と比べると増加していますが、まだまだ不十分です。このためサイトの内容の拡充、利用者の拡大を図る必要があります。

「第三次生涯学習基本計画」では、この「生涯学習情報提供サイト」をより多くの方々に見ていただき、利用していただくために、サイトの普及、活用を推進します。



地域の学習資源の活用

個人の価値観やライフスタイルが多様化する中で、多種多様な学習の機会が提供されています。地域に根ざした学習を進める公民館講座、大学のもつ豊富な学習資源を活用した大学公開講座、専門分野を深く探究する「そうか市民大学」、この他民間学習団体による講座も多数開催されています。

このように学習環境が整い、地域における高度な学習の機会が充実してきていることから、市民の学習ニーズは以前よりも多様化・高度化しています。行政のもつ学習資源だけでは、これらに応えることは困難であり、大学や民間学習団体などのもつ学習資源を活用することが必要となってきています。

このことから、平成27年度に獨協大学との新たな共催事業として、「子ども大学そうか()」を開校し、獨協大学の教授による英語や環境の学習を行いました。

「子ども大学そうか」を大学との連携モデルとして内容の拡充を図るとともに、大学、民間企業、民間学習団体、NPO法人などとの共催による講座や事業の実施を推進します。

「平成28年度子ども大学そうか」の様子



「ドイツ語であそぼ！」の講義風景



「人間の目で見えないものを科学の力で見てみよう」
の講義風景

子ども大学とは

ヨーロッパで広がった取組で、日本では「子ども大学かわごえ」が最初に設立されました。埼玉県ではこの取組を推進しており、現在では埼玉県内全市町村で開校されています。大学のキャンパス等を会場に、大学教授や地域の専門家が講師となり、子どもたちの知的好奇心を刺激する講義や体験活動が行われています。(埼玉県教育委員会ホームページより引用)

『草加松原』を活用した郷土学習の推進

平成26年3月18日に本市に所在する『草加松原』が、「おくのほそ道の風景地」の一群として国の名勝に指定されました。埼玉県における名勝指定は、「長瀬」（大正13年、皆野町・長瀬町）、「三波石峡」（昭和32年、神川町・群馬県藤岡市）に続く3件目であり、56年ぶりのこととなります。

『草加松原』は、約1.5キロメートルにおよぶ松並木で、旧草加宿に隣接する日光街道の名所として江戸時代から知られており、紀行文「おくのほそ道」の中で、松尾芭蕉が歩みを記した往時の雰囲気、今なお色濃く伝えています。戦後、昭和40年代には根元を通行する車両の排気ガスや振動によりマツは70本程度にまで減少しましたが、市民団体や県、市の長年の努力により、平成24年には成木・若木合わせて634本にまで復活しました。

このように『草加松原』が注目されるようになったことから、郷土の歴史を見直し、再発見しようとする動きが出てきました。子どもから大人まで世代を問わず、自分たちが住む草加の歴史を知り、郷土への誇りと愛着を深める学習を提供する必要があります。歴史民俗資料館を中心として、『草加松原』を活用し郷土の歴史を学ぶ学習を推進します。



松尾芭蕉翁像



冬の草加松原



百代橋と草加松原

2 【施策1】生涯をととした多様な学習機会の充実

【現状と課題】

生涯学習の広がりとともに、生涯をととして学習活動をしていきたいと思う市民が増えています。平成26年度に実施した草加市生涯学習市民アンケートでは、公民館で学習活動をしている市民の9割が、現在の学習活動に満足を感じており、「今後も学習活動してみたい」と回答しています。学習活動で身に付けた知識などを自己実現や家族のために活用し、人生をより豊かにしていることがうかがえます。

市民の生涯をととした学習意欲に応える環境づくりや学びの成果を地域づくりにいかすための仕組みづくりが求められています。

【主な取組】

学びの環境づくり

- ・生涯学習推進体制の整備
- ・生涯学習情報提供体制の充実

市民の生涯学習意欲に応える体制づくりとして、教育委員会のみならず、各部署と連携して、本計画を推進します。

また、市民の継続的な学習活動を支援するため、年間をととして「生涯学習体験講座」を開催し、学びたい人と指導者を結ぶ仕組みづくりをととして、「ともに学び、ともに育つ」生涯学習社会の構築を図ります。

生涯学習推進体制 の整備	主要推進事業	事業の方針
	第三次生涯学習基本計画の 検証	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会において、第三次生涯学習基本計画の進捗状況を検証します。 ・生涯学習に関する全庁的な調整会議を開催し、進捗状況を確認するとともに、情報交換などを行います。 ・生涯学習に関する先進的な取組について、調査・研究します。
	指導者バンク制度の周知と 活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報提供サイトを活用し、指導者バンク制度の周知に努めます。 ・指導者バンク登録者の発掘に努めます。
	指導者バンク登録者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者バンク登録者を講師とする生涯学習体験講座の充実を図ります。 ・指導者バンク登録者の情報を広く提供し、様々な事業においてバンク登録者が活用されるように努めます。

学習活動へのきっかけづくりとして、学習情報を簡単に得ることができることが重要です。情報通信技術の進展に伴い、インターネットの活用が日常生活に浸透しています。「あらゆる世代」に「いつでも」生涯学習情報を届けるためには、「広報そうか」への掲載やパンフレットの配布といった従来のやり方のほか、インターネットを活用することが必要不可欠です。

市では、市民の生涯学習に関する様々な情報をインターネット上で入手できる「生涯学習情報提供サイト」を開設しました。このサイトの普及・活用を図るとともに、あらゆる媒体を用いた学習情報の提供を推進します。

	主要推進事業	事業の方針
生涯学習情報提供体制の充実	生涯学習情報提供サイトの普及・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・講座やイベントの周知に当たって、サイトを活用します。 ・愛称を設定しサイトのPRを図ります。 ・年齢や身体的障がいに関係なく、誰もが利用しやすいサイト構築に努めます。 ・機能の追加などを行い、操作が簡単で使いやすいものとしします。 ・定期的にサイトの操作説明会を開催し、利用を促します。 ・公民館や文化センターにおいて、インターネットが使用できる環境づくりに努めます。 ・利用登録者の増加に努めます。
	関連サイトとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」との情報連携に努めます。 ・草加市文化協会や草加市体育協会などのサイトとの連携を検討します。 ・市民活動センター公式facebookとの情報連携に努めます。 ・その他関連サイトとの情報連携に努めます。
	生涯学習情報紙(誌)等の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報そうか」折込にて生涯学習に関する情報紙を発行します。 ・市内で活動するサークルの情報をまとめた情報誌を発行します。

学びの輪を広げる

- ・地域の教育力の活用
- ・ともに学びともに育つ学習機会の提供

大学、NPO法人、市民団体、学校や民間学習団体といった地域の教育資源をいかし、市民の高度で多様な学習意欲に応える学びの輪を創出します。

学校・家庭・地域の連携・融合を更に推進し、「地域の教育力」の活用を図ります。

地域の教育力の活用	主要推進事業	事業の方針
	地域学習圏づくりの推進	・公民館や文化センターを地域における主要な学びの拠点として位置付け、地域の他の学習施設(学校やコミュニティセンターなど)との連携に努めます。
	そうか市民大学の充実	・そうか市民大学推進委員会と連携し、カリキュラムを充実させ受講者数の増加に努めます。 ・大学及び民間学習団体などと連携し、多様な学習の提供に努めます。
	子ども大学そうかの充実	・子どもの知的好奇心を刺激する講座の開拓など、内容の充実に努めます。 ・大学及び民間企業などと連携し、多様な学習の提供に努めます。
	獨協大学との連携・交流	・獨協大学と連携し、大学のもつ学習資源の活用に努めます。 ・獨協大学との共催事業「オープンカレッジ」について、講座内容や機会の拡充を働きかけます。
	上野学園大学との連携・交流	・音楽都市にふさわしい音楽学習の機会を充実させるため、大学のもつ学習資源の活用に努めます。
	近隣大学との連携・交流	・文教大学をはじめとする近隣大学との事業連携を検討します。

地域の教育力の活用	主要推進事業	事業の方針
	郷土学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館が中心となって郷土の歴史や文化を知るための機会の充実を図ります。 ・手軽に草加の郷土史を学ぶために「草加の歴史と文化財ハンドブック」の活用を図ります。 ・児童生徒の副教材として「草加お宝かるた」の活用を推進します。
	学校応援団の活動内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団の活動の充実を図るため、学校応援コーディネーターを育成します。 ・学校応援団連絡協議会や研修会を実施し、各校の具体的な取組について情報交換し、各校での活動の充実及び発展を図ります。
	土曜日等の体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の中で子どもたちの知・徳・体をはぐくむため、望ましい土曜日等の教育活動について実施してきます。 ・放課後において、子どもたちが安全安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう支援していきます。
	「親の学習」の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の入学前に、保護者向け「親の学習」講座を開催し、子育て不安の軽減などを旨とするともに、保護者同士のコミュニケーションの充実を図ります。 ・各園・各校のPTAなどが実施する子育てに関する講演会や家庭教育学級などで、保護者向け「親の学習」講座の実施を支援します。

生涯学習の内容は、趣味、教養、健康、スポーツに関すること、生活課題に即した学習、地域活動に参加するための学習など、非常に幅広いものとなっています。

また、その担い手は子どもから高年者まで、日中仕事をしている人、育児中の人などあらゆる世代が対象となります。

本市では、多くの部署において学習機会が提供されており、引き続きこれら各種事業を推進します。

一方、生涯学習は行政からの一方向の取組ではなく、市民や地域で活動する団体などとの連携により進められているものも多くあります。地域との連携を強化し、「ともに学び、ともに育つ」学習機会の提供を推進します。

ともに学びともに育つ 学習機会の提供	主要推進事業	事業の方針
	現代的課題に対する学習 の推進	・女性、子ども、障がい者、高年者、国際交流、 多文化共生、環境、防災、防犯といった多岐 にわたる現代的課題について、理解を深める 学習機会の充実に努めます。
	音楽・文化・芸術関連事業 の推進	・「音楽都市宣言」にふさわしい音楽事業を推 進します。 ・「奥の細道」関連事業、「草加松原」関連事業 の充実に努めます。 ・地域の文化財の保存・普及・啓発に努めま す。 ・「草加市文化芸術振興条例」に基づき、草加 らしい文化芸術及び伝統的な文化芸術の振 興、向上及び発展に努めます。
	スポーツ・レクリエーション 事業の推進	・（公財）草加市体育協会やスポーツ推進委員 などと連携し、市民のニーズに即した事業展開 に努めます。 ・様々な大会の開催を通じて、スポーツ・レクリエ ーション活動の普及に努めます。 ・学校開放団体などを中心に、地域でスポーツ・ レクリエーション活動や交流ができる機会を創 出します。 ・オリンピック・パラリンピックを活用し、「するスポ ーツ」だけでなく、「見るスポーツ」や「支えるスポ ーツ」のすばらしさを伝え、市民のスポーツに 対する意識や関心を高めます。

ともに学びともに育つ 学習機会の提供	主要推進事業	事業の方針
	健康づくり事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに合わせた健康づくりの取組ができるよう、各種講座・教室を開催します。 ・身近な施設において健康づくりの機会を提供します。 ・健康づくり団体や医療機関、学校、企業などと連携し、スポーツだけでなく栄養・食生活や健康管理の必要性についての講座の充実に努めます。
	子育て支援事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館・文化センター、児童館・児童センターなどにて、乳幼児と保護者の交流を深める事業を実施します。 ・草加市子育て支援コーディネーターを中心に、子育てを推進する団体などと連携し、子育て支援ネットワークの充実を図ります。 ・市内全ての小学校にて放課後子ども教室事業を開催します。また、放課後児童クラブとの連携を進めます。

学びをいかす人づくり

- ・学習成果の活用
- ・人材育成の場づくり

現在、生涯学習施設を中心として、その規模も様々な形で学習成果の発表が展開されています。学ぶこと自体が人生を豊かにし、生きがいを与えてくれるものですが、学習成果を発表することで、地域への積極的な関わりや仲間づくりの機会を生み出します。

学習者の要望や熟練度に合わせた、多様な学習成果の発表の場を提供します。

	主要推進事業	事業の方針
学習成果の活用	学習成果の発表の場づくり	<ul style="list-style-type: none">・公民館・文化センターまつりを開催します。・公民館・文化センターでのロビー展、ギャラリー展の充実に努めます。・平成塾活動合同発表会を開催します。・様々な機会を活用して発表の場の提供に努めます。

学習成果を活用して地域活動に参加することは、これからの生涯学習の大切な課題となっています。草加市生涯学習市民アンケートでは、公民館で学習活動をしている市民の75%が「地域や社会を支援する活動に参加していきたい」と回答しています。公民館の講座やサークル活動などをとおして得た知識や絆を、地域社会に還元していきたいとの意向がうかがえます。学びの成果を地域づくりにいかせるよう、人材の発掘・育成の充実を図ります。

また、本市では行政と協働して生涯学習の推進を図る市民主体の組織として、平成13年度に「生涯学習市民推進会議」を設置しました。生涯学習の普及奨励という当初の目的が達成された今、組織の役割を見直します。

人材育成の場づくり	主要推進事業	事業の方針
	団体・サークルの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館使用料の減免制度を維持します。 ・生涯学習情報提供サイトを活用し、団体・サークルの広報活動を支援します。
	新成人のつどいの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新成人による実行委員会を組織し、新成人自ら企画・運営することで、地域で活躍できる人材の育成につなげます。 ・ふるさと意識を高め、地域貢献の心をはぐくむ場として活用します。 ・参加率の維持に努めます。
	市民活動・コミュニティ活動事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターにおいて、まちづくり講座の充実に努めます。 ・市民活動センターと連携し、学習者を地域活動へとつなげる方策を検討します。 ・地域活動への参加を促すために、地域活動に関する情報と学習の機会を提供します。 ・市民活動相談体制の充実を進めます。 ・安心して市民活動が取り組めるよう、補償面の支援を行います。 ・市民活動センター公式facebookの一層の活用を進めます。
	生涯学習市民推進会議の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習市民推進会議の活用について検討します。

3 【施策2】生涯学習施設の整備とネットワークの推進

【現状と課題】

本市では、公民館・文化センター、歴史民俗資料館、中央図書館などの社会教育施設のほか、文化会館、市民活動センターなどにおいても多様な学習機会が提供されています。また、コミュニティセンターなどでは、市民の生涯学習活動を支援するための活動の場が提供されています。

公民館・文化センターは、生涯学習を推進するための主要施設として活発に活用されています。平成26年度には谷塚西部地域の情報発信地として新里文化センターが開館し、地域活動の重要な拠点となっています。

また、学校施設の地域開放を進める事業として、市内初の複合施設の開設となった谷塚小学校・谷塚文化センターでは、学校教育の場と社会教育の場を一つに集約し、一歩進んだ地域開放の形を示しました。さらに、栄小学校の建替えに伴い一部の教室を一般に開放する取組も始まりました。

一方、中央公民館及び川柳文化センターは開館から約40年が経過しようとしており、老朽化への対策が長年の課題となっています。

学校・家庭・地域の連携を図るため、平成塾における世代間交流の拡充や、より身近で地域性をいかした学習機会の提供を行うための仕組みづくりに取り組む必要があります。

【主な取組】

地域における生涯学習施設の整備

・生涯学習施設の整備・充実

公民館・文化センターの整備については、市民が安全で快適に利用できるよう適切な修繕・改修工事を行います。

中央公民館及び川柳文化センターの老朽化対策として、耐震化などの対策を効果的・効率的に実施していくよう検討します。

生涯学習施設の 整備・充実	主要推進事業	事業の方針
	公民館・文化センターの整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できるよう適切な修繕・工事を行います。 ・中央公民館及び川柳文化センターの老朽化対策については、「草加市公共施設等総合管理計画」の方針に沿って、整備の在り方を検討していきます。
	歴史民俗資料館の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できるよう適切な修繕・工事を行います。 ・企画展などが効果的に開催できるようにするため、展示スペースなどのリニューアルを検討します。
	栄小開放施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できるよう適切な修繕・工事を行います。
	平成塾の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できるよう適切な修繕・工事を行います。
	吉町集会所の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できるよう適切な修繕・工事を行います。
	その他の生涯学習施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・草加市スポーツ施設整備計画に基づき、各スポーツ施設の整備・再配置を検討します。 ・小中学校の体育施設、グラウンドといった学校施設の開放の充実に努めます。 ・その他公共施設（文化会館・コミュニティセンターなど）についても、市民の学習活動の推進のため、各施設の整備・充実に努めます。

身近で地域性をいかした学習機会の提供

- ・世代間交流事業の推進
- ・利用しやすい生涯学習施設の運営

世代間交流とは、世代の異なる人が相互に交流し、互いの価値観への理解を深めるための取組です。以前の社会では、この世代間交流が意識することなく、自然な形で行われていましたが、現在では、世代ごとに生活の場が固定化され、世代間の交流が難しくなっています。

世代間交流は、高年者には生きがいを与え、子どもたちには年長者を敬う心を育み地域の活動への理解を深める効果があります。

本市では、小学校を拠点とした平成塾において世代間交流を推進しています。

学校・家庭・地域との連携を深めるため、様々な場面において世代間交流を進めることが重要です。

世代間交流事業の 推進	主要推進事業	事業の方針
	平成塾の運営の充実	・世代間交流事業を推進します。 ・助成金の交付を通じて、平成塾運営委員会の活動を支援します。 ・学習の成果が発表できる場として、合同発表会を引き続き開催します。 ・生涯学習情報提供サイトなどを活用して、平成塾の活動の周知に努めます。
	その他の交流事業の充実	・市民活動センターにおいて、交流サマーフェスティバルを開催し、「三世代交流」を軸としたより実効性の高いイベントを目指します。 ・放課後子ども教室において、学校・保護者・地域住民の交流を深めるように努めます。

生涯学習施設では、市民に多様な学習の機会を提供するため、独自に講座や教室、イベントなどを企画しています。また、身近な問題の解決のため、地域団体や関係機関と連携することもあります。

生涯学習に関心のある地域住民や関係機関、利用団体との連携を推進し、施設ごとに地域性をいかした事業を展開することが必要です。

利用しやすい生涯 学習施設の運営	主要推進事業	事業の方針
	公民館・文化センターの運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各館にて主要目標を掲げ、特色ある公民館運営を推進します。 ・土曜日や放課後における子どもたちの居場所づくりを検討します。 ・高年者の増加が見込まれることから、高年者事業の充実を図ります。 ・安心して地域で子育てができるよう、子育て支援事業の充実を図ります。 ・スポーツ事業の充実や古典芸能の普及に努めます。 ・大学、NPO法人、サークル団体など民間学習団体の学習資源を活用します。 ・環境や防災、消費者問題など現代的課題に対し、市民の意識を高め、地域活動にいかすことができるような学習機会の提供に努めます。 ・誰もが利用しやすい学習施設となるよう、利用手続きの簡素化や利用条件の緩和など、学習施設の利便性の向上に努めます。
	歴史民俗資料館の運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史講座などとおして、郷土の歴史や文化を知るための学習機会の充実を図ります。 ・国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」を学習資源として活用します。 ・収蔵資料検索システムの充実を図ります。
	栄小開放施設の運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・栄平成塾及び学校開放運営委員会と連携して、施設の運営に努めます。 ・使用申請手続の効率化に努めます。 ・利用者数の増加、稼働率の増加に努めます。
	吉町集会所の運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町会や集会所運営委員会と連携して、施設の運営に努めます。
	その他の生涯学習施設の運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用しやすい学習施設となるよう、利用手続きの簡素化や利用条件の緩和など、学習施設の利便性の向上に努めます。

中央図書館の充実

- ・中央図書館の整備・充実
- ・中央図書館の運営の充実

公民館図書室、小学校サービスコーナー、地域開放型図書室とのネットワークを活用し、自ら学ぼうとする生涯学習社会にあって広く市民の知的要求に応えるとともに、利用者が必要とする情報提供の場として、多様できめ細かなサービスを提供します。

中央図書館の整備・ 充実	主要推進事業	事業の方針
	中央図書館の整備・充実	・施設、設備の修繕改修などを適宜実施し、利用者に対して安全で快適な読書環境が提供できるよう努めます。

中央図書館の運営 の充実	主要推進事業	事業の方針
	サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年数の経過した図書資料の更新の他、特色ある企画や郷土資料の整備・充実に努めます。 ・公民館図書室などの図書を充実し、図書館地域サービスをより利用しやすく魅力あるものにするよう努めます。 ・利用者の知的要求や生活課題解決に必要な情報提供の要望に迅速かつ的確に応えられるよう、レファレンス業務の充実を図ります。 ・蔵書を活用した文化事業を開催し、市民の読書活動の推進に繋がります。 ・対面朗読や録音図書の作成及びDAISY(デジタル音声情報システム)の活用を促進するなど障がい者に対する読書支援活動を推進します。 ・親子を対象とした読み聞かせ活動や読書相談を推進します。 ・子どもの読書活動を全市的・総合的に推進するため、草加市子ども読書活動推進計画の平成29年度内策定を目指します。

4 計画の推進体制

第三次生涯学習基本計画の推進に当たっては、それぞれの事業について実施課が評価を行うとともに、社会教育委員会議において検証を行い、生涯学習の推進を図ります。

それぞれの事業の評価・検証においては、次のとおり数値目標を設定し、客観的な指標により検証し、必要な改善などを検討します。

施策		主要推進事業	成果指標	実績値 (H27)	目標値 (H31)
生涯をと おした学 習機 会 の充 実	学びの環境づくり	第三次生涯学習基本計画の達成	基本計画達成度	92.88%	92%
		指導者バンク制度の周知と活用	登録者数	80人	90人
		指導者バンク登録者の活用	活用件数(体験講座含む)	30件	60件
		生涯学習情報サイトの普及・活用	年間アクセス数	2,743件	4,500件
			年間投稿件数	152件	300件
	学びの輪を広げる	地域学習圏づくりの推進	学校、コミュニティセンター等との連携事業数	14件	20件
		そうか市民大学の充実	受講者数	1,085人	1,200人
			講座数	11回	12回
		子ども大学そうかの充実	講座数	4回	5回
		獨協大学との連携・交流	オープンカレッジ受講者数	3,488人	3,600人
		上野学園大学との連携・交流	公開講座受講者数	22人	30人
		郷土学習の充実	郷土学習講座開催数	12回	15回
	学びをいかす人づくり	団体・サークルの活動支援	社会教育関係団体登録数	448団体	460団体
		新成人のつどいの充実	参加率	74.66%	75%
		地域活動への参画の支援	支援策の検討	-	-
		学習成果の発表の場づくり	発表の場の提供回数	78回	100回
		生涯学習市民推進会議の活用	市民推進会議の活用策の検討	-	-

施策		主要推進事業	成果指標	実績値 (H27)	目標値 (H31)
生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進	地域における生涯学習施設の整備	公民館・文化センターの整備・充実	適正な修繕、工事の実施	-	-
		中央公民館及び川柳文化センターの老朽化対策		-	-
		栄小一般開放施設の整備・充実		-	-
		歴史民俗資料館の整備・充実		-	-
		平成塾の整備・充実		-	-
	身近で地域性をいかした学習機会の提供	平成塾の運営の充実	平成塾利用者数	64,478人	68,250人
			世代間交流事業数	67件	75件
		公民館・文化センターの運営の充実	公民館利用者数	586,031人	600,000人
			公民館事業数	194件	205件
		歴史民俗資料館の運営の充実	歴史民俗資料館来館者数	16,763人	16,950人
			歴史民俗資料館年間講座等開催数	55回	70回
		栄小一般開放施設の運営の充実	開放施設利用者数	5,816人	6,000人
			利用団体数	22団体	30団体
	中央図書館の充実	中央図書館の整備・充実	適正な修繕、工事の実施	-	-
		サービスの充実	市民一人当たりの年間貸出冊数	4.83冊	5冊
			文化事業の件数	15件	18件